

地方中小企業の社長300名に聞いた！

生成AI格差が深刻化

AI導入率わずか9.9%

3人に1人が“**取り残される焦り**”
を感じている

地方中小企業の生成AI活用実態調査 2025

Research Outline

調査概要

調査機関

株式会社LOG

調査名称

地方中小企業の生成AI活用実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

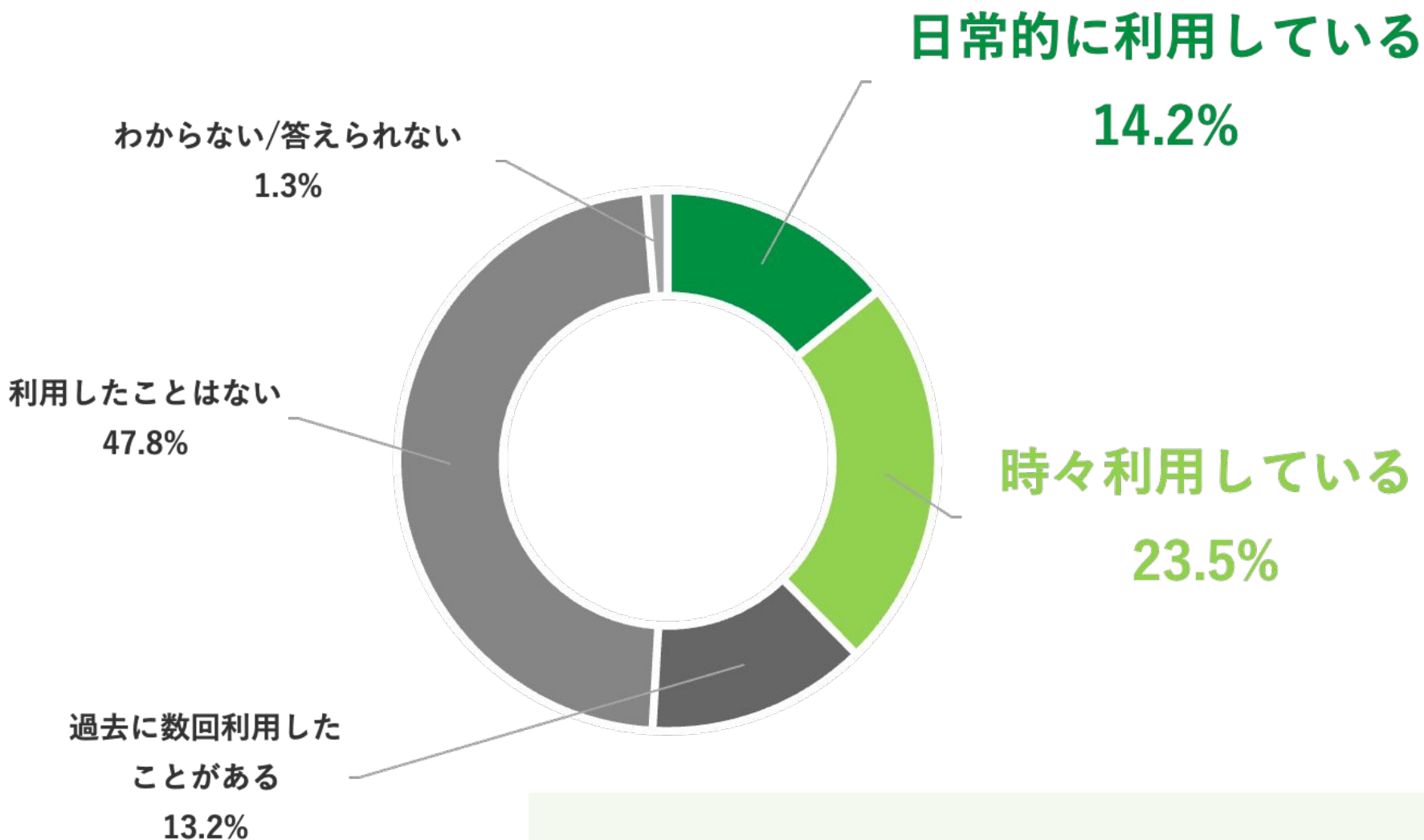
2025年9月25日～同年9月30日

有効回答

地方中小企業の社長(東京都・大阪府・愛知県・宮城県・福岡県・北海道以外に所在する従業員10名以上100名未満の企業)302名

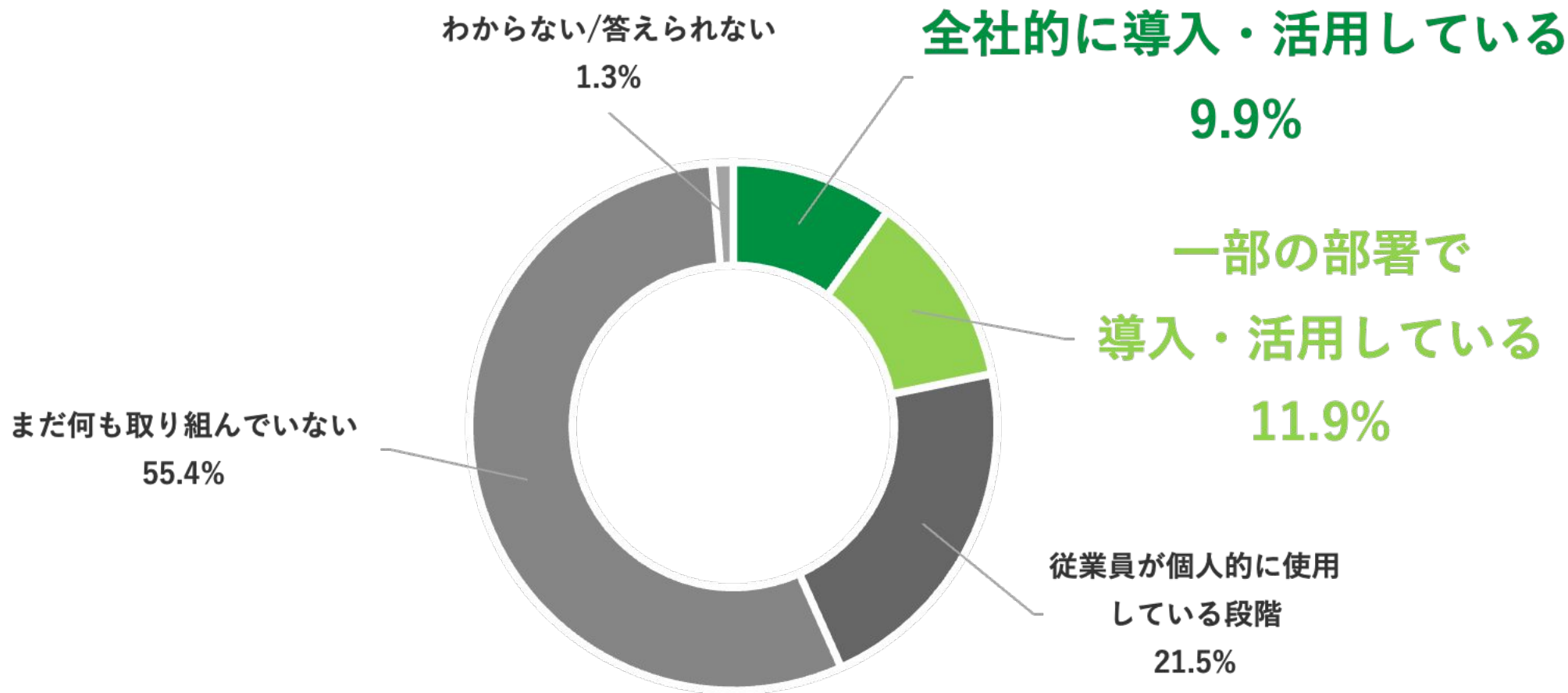
※合計を100%とするため、一部の数値について端数の処理を行っております。
そのため、実際の計算値とは若干の差異が生じる場合がございます。

Q1 あなたご自身は、ChatGPTやClaude、Geminiなどの生成AIを業務で個人的に利用していますか。



生成AIを定期的に「利用している」と回答した方は、14.2%にとどまりました。

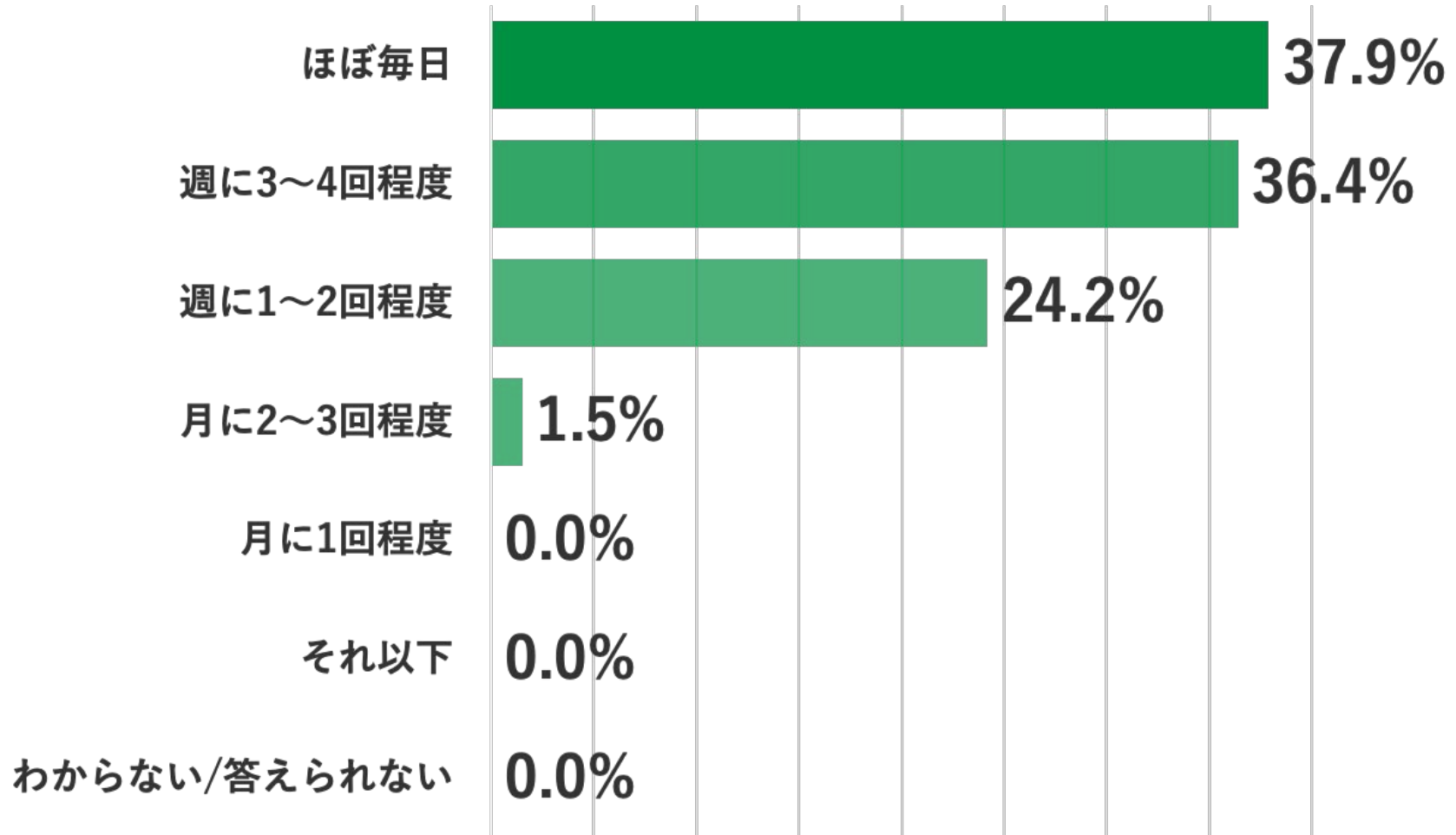
Q2 お勤め先の業務における、生成 AIの活用状況を教えてください。



生成AIを「全社的に導入・活用している」と回答した方は10%未満になりました。

Q3

※Q2で「全社的に導入・活用している」「一部の部署で導入・活用している」と回答した方に質問
お勤め先の従業員は、どのくらいの頻度で生成 AIを活用していると思いますか。

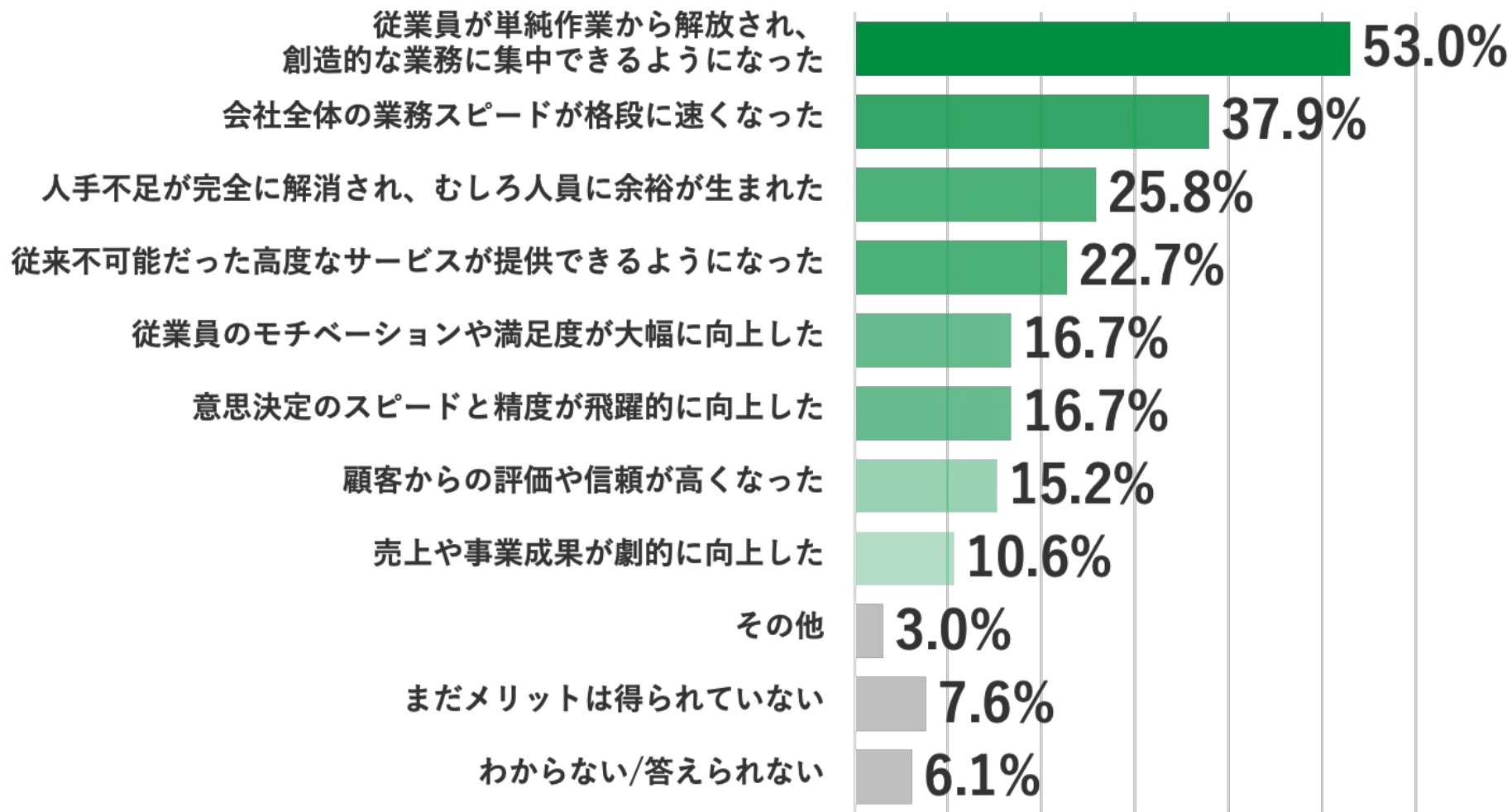


導入企業の7割以上が「週に3~4回程度」以上、
生成AIを活用していることが明らかになりました。

Q4

※Q2で「全社的に導入・活用している」「一部の部署で導入・活用している」と回答した方に質問

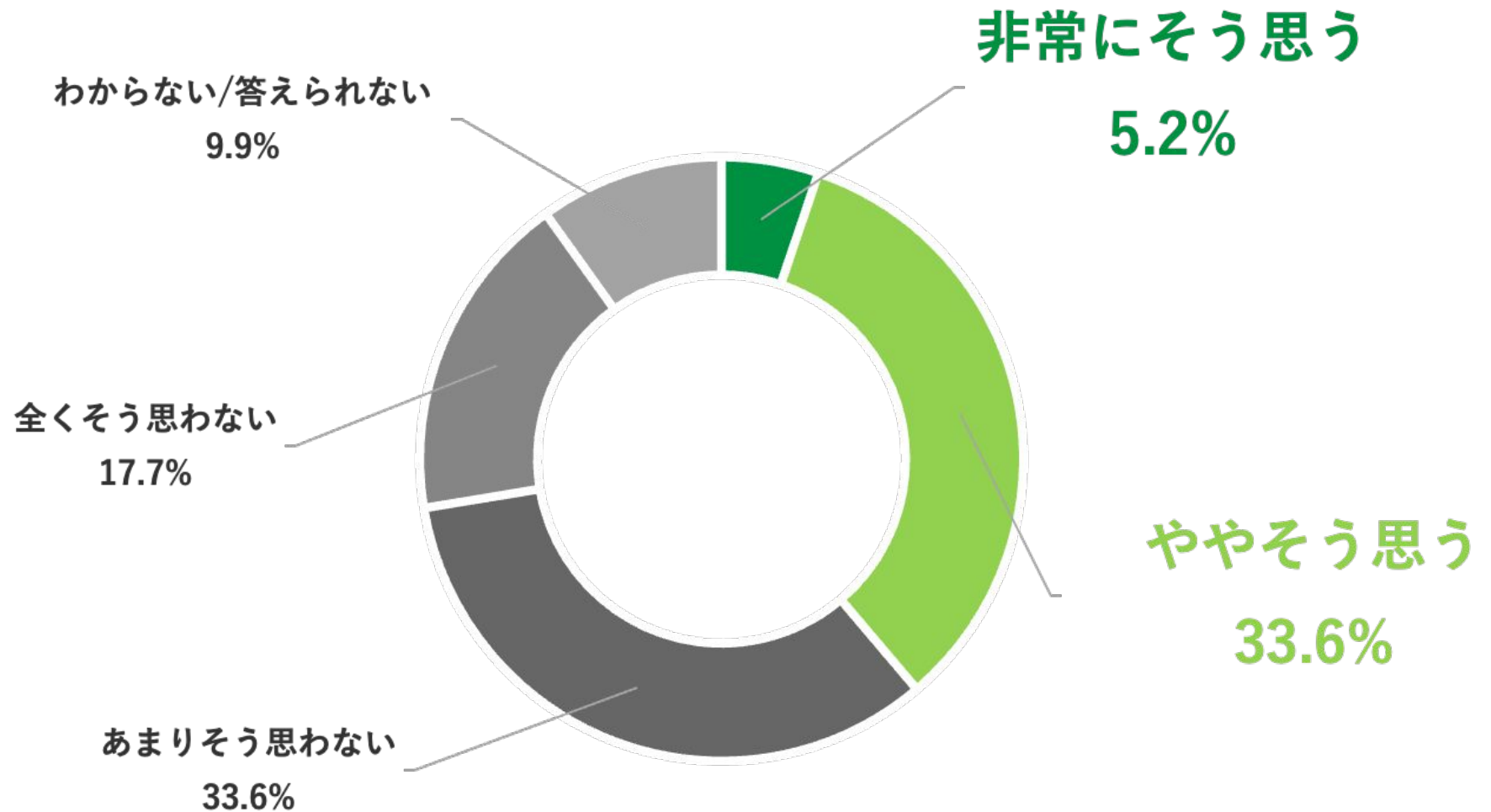
全社的に生成 AIを導入したことで、どのようなメリットがありましたか。(複数回答)



半数以上が「従業員が創造的な業務に集中できるようになった」と回答し、「業務スピード向上」「人手不足解消」も上位の結果になりました。

Q5

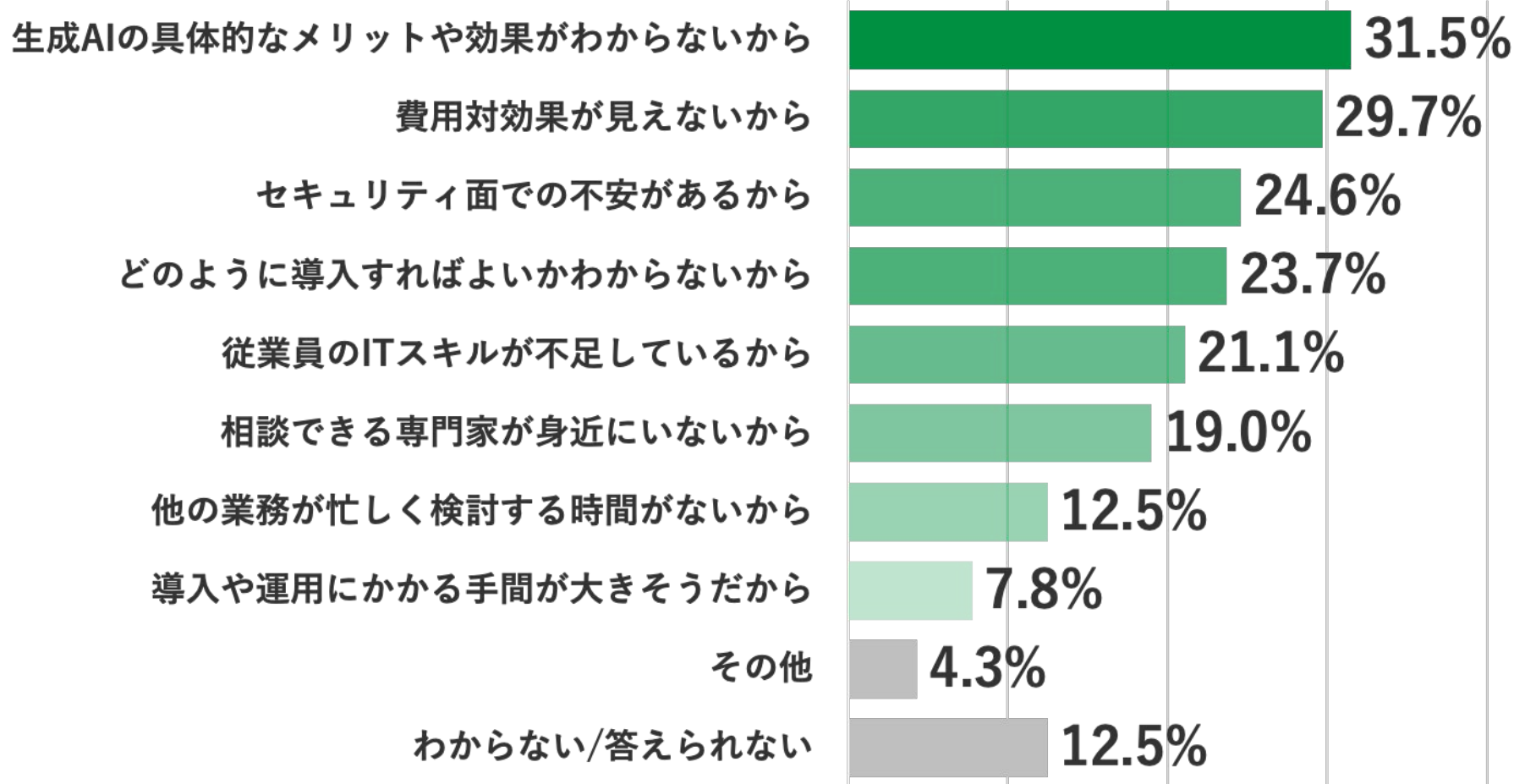
※Q2で「従業員が個人的に使用している段階」「まだ何も取り組んでいない」と回答した方に質問
あなたは、全社的な生成 AIの導入をしたいと思いますか。



生成AIを導入していない・個人的に使用していると回答した人の約4割が全社的な生成AI導入を希望しています。

Q6

※Q2で「従業員が個人的に使用している段階」「まだ何も取り組んでいない」と回答した方に質問
全社的に生成AIの導入が進んでいない理由を教えてください。
(複数回答)



導入が進まない理由、
第1位「生成AIの具体的なメリットや効果がわからないから」、第2位
「費用対効果が見えないから」となりました。

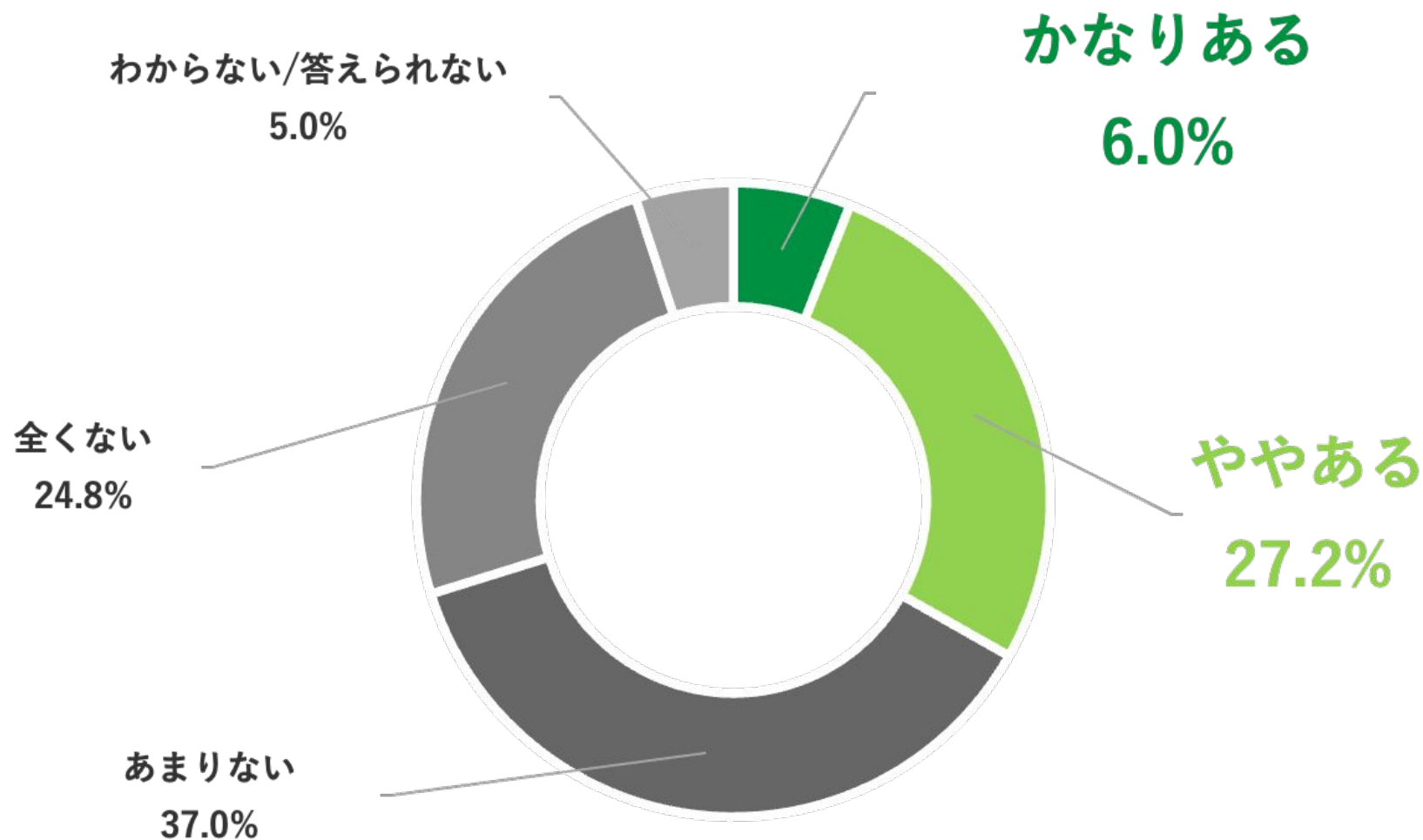
Q7

※Q6で「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

Q6で回答した以外に、全社的に生成 AIの導入が進んでいない理由があれば、自由に教えてください。

- 導入した時、従業員の不安を解決出来ていない。
- 実態が掴めないから。
- 何を生成AIに託したら良いのか判断出来ていない。
- 会話の内容が外部にもれそう。
- 特に仕事上、使用しなくても、回っているので。
- 業界として活用が進んでいない。
- IT系の専任担当者を採用してから導入するつもり。

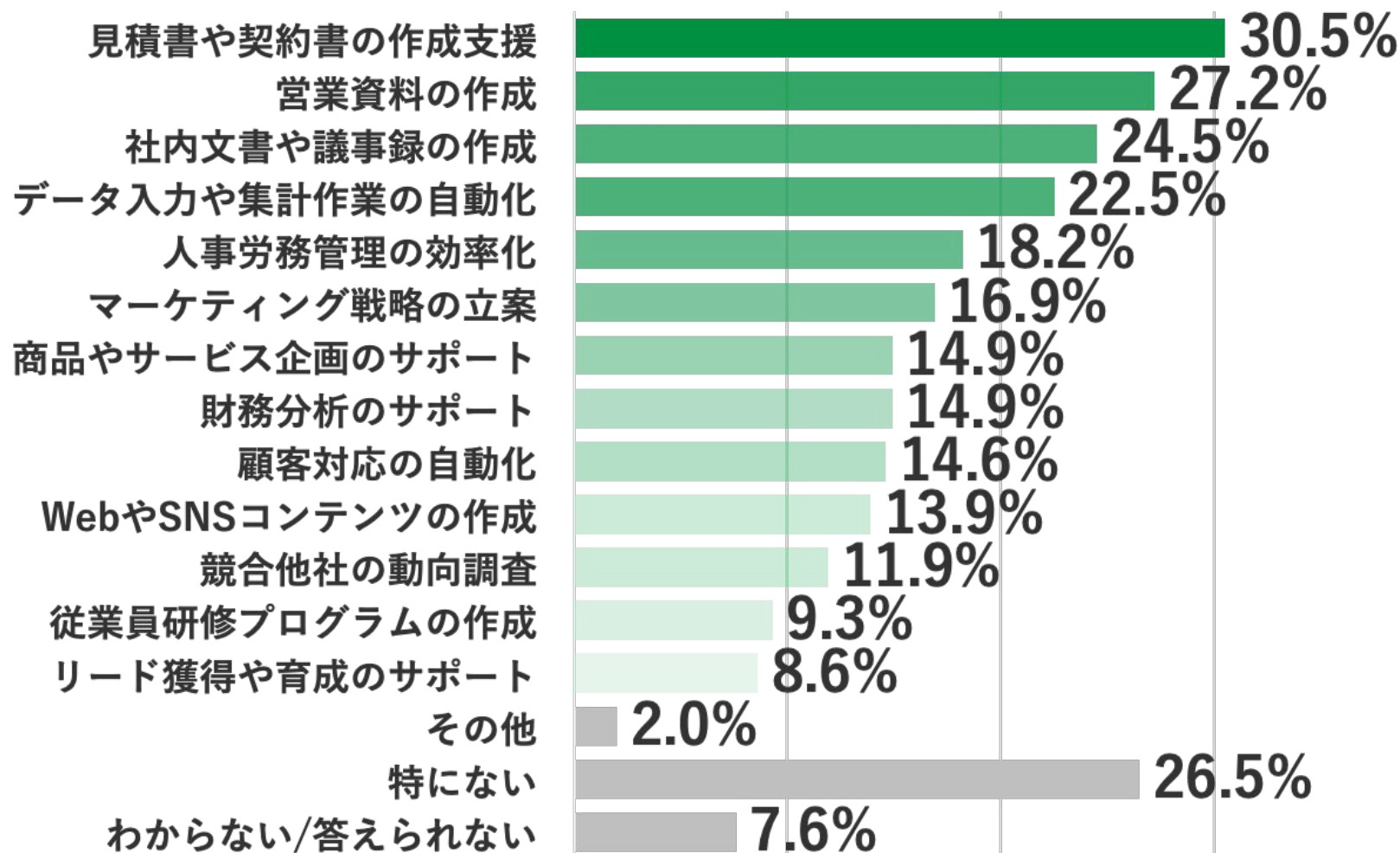
Q8 あなたは、生成 AIの急速な普及を見ていて、「自社が取り残されるかもしれない」といった焦りを感じたことがありますか。



3人に1人が「自社が取り残されるかもしれない」という焦りを感じています。

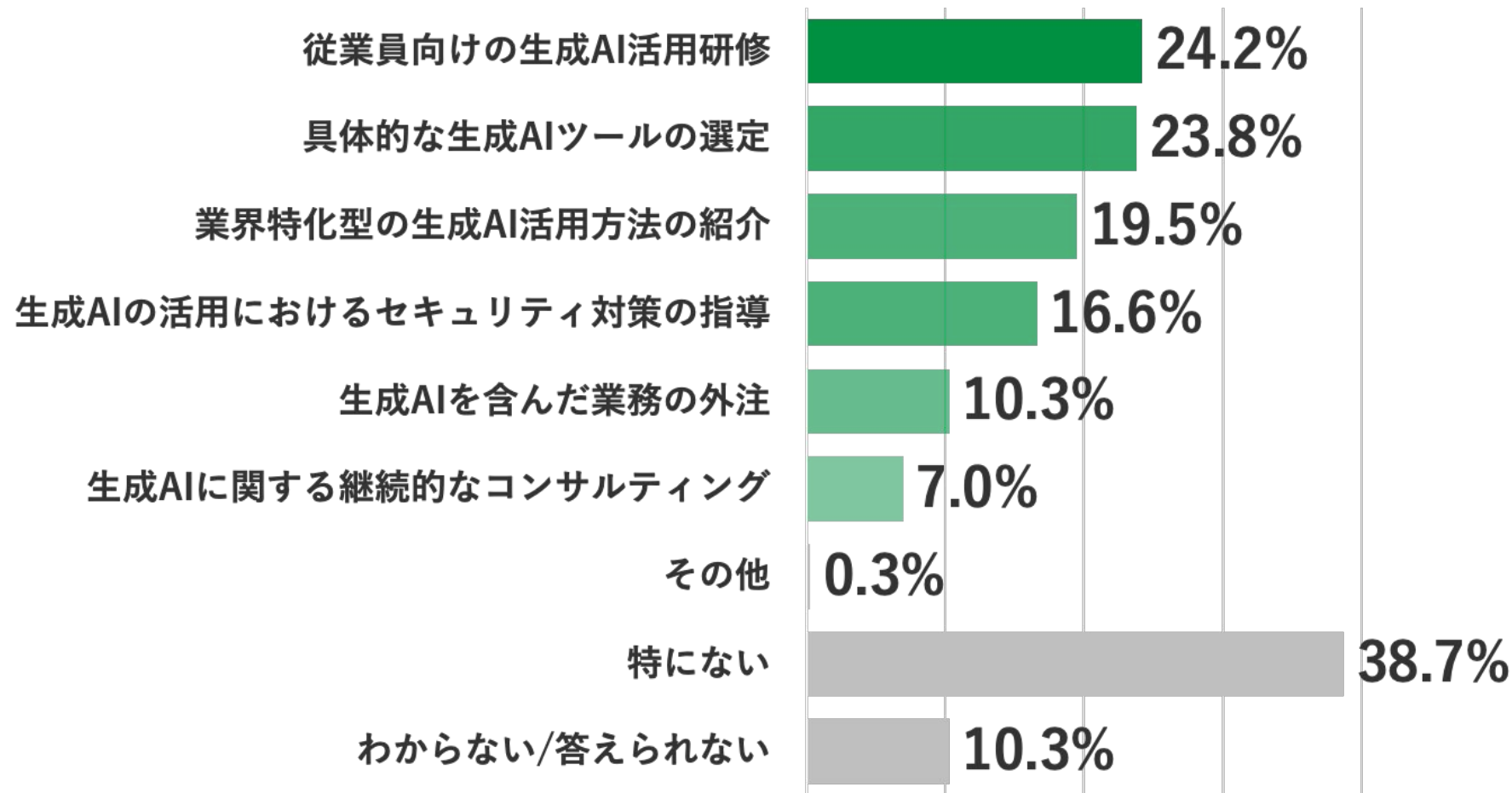
Q9

あなたが、全社的な生成 AIの導入において、
生成AIに任せてる/任せたい業務を教えてください。(複数回答)



生成AIに任せたい業務として、「見積書や契約書の作成支援」が最多の回答となりました。

Q10 あなたが現在目指している組織体制に近づくために受けてたい、生成AIに関するサービスを教えてください。(上位 3つまで回答可)



受けてたい生成AI関連サービス、「従業員向けの生成AI活用研修」が24.2%で最多、次いで「具体的な生成AIツールの選定」が23.8%でした。

調査レポート：導入効果と現状

利用率はまだ低く、個人レベル止まり

個人で日常利用：**14.2%**

企業全体で導入：**9.9%**

半数以上 (55.4%)

「まだ何も取り組んでいない」

地方中小企業では活用が進まず、個人依存の段階。
組織的な導入や教育体制が未整備。

導入企業の7割が“週3回以上”活用

導入済み企業の

7割以上

が週3～4回以上AIを利用。

一度導入が進むと
継続的な業務習慣として定着しやすい傾向。

AI導入の効果は「創造性」と「速度」

創造的業務に集中：**53.0%**

業務スピード向上：**37.9%**

人手不足解消：**25.8%**

人の能力を引き出すAI活用”に価値。人材代替でなく、生産性・創造性向上の補助ツールと認識。

未導入企業の約4割は「導入したい」

未導入層のうち

約39%

(5.2% + 33.6%) が導入意欲あり。

潜在的な導入意欲はあるものの、
次の“壁”で止まっている状態。

導入が進まない最大の壁は「わからない」

理由トップ2：

メリット・効果が不明：31.5%

費用対効果が見えない：29.7%

その他：

セキュリティ不安、ITスキル不足、専門家不在。

”情報不足”と”人材不足”の
二重構造が明らかになっている。

3人に1人が「取り残される不安」

33.2%

(「かなりある」6.0%+「ややある」27.2%)

地方の経営者層にも
生成AI格差への危機感が確実に広がっている。

任せたい業務は“文書作成・営業資料系”

見積書・契約書作成：30.5%

営業資料の作成：27.2%

社内文書・議事録：24.5%

「すぐに業務効率化効果を感じられる領域」
でのニーズが高い。

求められているのは“人材育成と実践支援”

従業員向けAI活用研修：24.2%

ツール選定サポート：23.8%

業界特化型AI活用法紹介：19.5%

多くの企業が「使える人を増やす」フェーズに課題。教育・導入支援こそが次の成長に重要

全社でAIを使えているのはわずか10%

地方中小企業のうち

全社でAIを使っているのはわずか9.9%。

しかし、導入した企業の7割は"週3回以上"AIを使いこなしており、初期の導入ハードルの高さが課題



3人に1人が「取り残される不安」でAIを導入したい

3人に1人がAIを導入したいが

「何ができるのかわからない」「人がいない」「リスクが怖い」などの課題がある。

地方の経営者層にも、生成AI格差への危機感が確実に広がっている現状。



必要なのは、“AI活用を実践できる人材育成”

多くの企業が「使える人を増やす」フェーズに課題。

中でも社員が一番求めているのは研修。

自分たちで使えるようになることの需要が高い

従業員向けAI活用研修：**24.2%**

ツール選定サポート：**23.8%**

業界特化型AI活用法紹介：**19.5%**

中小企業のAI導入における課題

1

最新AIの自社での
活用方法がわからない

2

現場に寄り添って
対応してくれる人がいない

3

ツールを導入したが、
現場で使われない

中小企業向けのAI導入ならLOGの
スパルタAIDX研修にお任せください

スパルタ

現場課題をDXのプロと
オンラインで一緒に解決

AIDX研修

SNS自動運用

社長ポット

レポート自動化

企業リスト取得

AI面談

施工計画書

LP自動作成

シフト作成

領収書整理

後追い自動化

自動提案

広告バナー作成

入金確認

求人票作成

SEO記事

ECサイト更新

AI電話

...

AI活用
事例 **800** 件超

DX支援
実績 **300** 社突破

研修
満足度 **90%** 以上

なぜ、スパルタAIDX研修は成果に繋がるのか？

強み 1

圧倒的な
アウトプット量

強み 2

現場課題にぴったり合う
完全カスタム設計

強み 3

研修中に利益につながる
仕組みを構築

● ● ● ●
こちらのチェックボックスに1つでも
当てはまる企業様はお問い合わせください！

- ☑ AIを活用した最新 AIの自社での活用方法がわからない
- ☑ 最新のAIを活用した社内 DXを進める人がいない
- ☑ 社内のデータが資産になってない
- ☑ 同業種の成功している AI・DXの活用事例を知りたい。
- ☑ マーケティング・採用・営業業務を AIで自動化させたい。



無料相談
実施中

メールからお問い合わせ

株式会社LOG・横川宛
m.yokogawa@log-port.com

件名「無料相談希望・御社名」

無料相談のご予約フォーム



<https://x.gd/GQWUU>

Mission

AIとDXでワクワクさせる未来へ

会社名	株式会社 LOG
所在地	〒150-0045 東京都渋谷区神泉町2-0-2-1 クロスシー渋谷神泉ビル
設立	2020年 8月
事業内容	DX支援、システム開発、AI研修
従業員	20名（業務委託含む）
会社HP	https://www.log-port.com/



中小企業・スタートアップの利益を作る仕組みを 現場で対応してきた経営メンバー



矢嶋 拓弥 / 代表取締役

広告プロダクションのエンジニア、上場企業の新規事業立ち上げを経験後、代表取締役に就任。行政〜大手まで300社以上のDX案件に関わりミニマムで成果を出す業務改善から新規事業創出まで対応可能。幅広い業界の知識と、AI含めた最新の解決手法で費用対効果の高い施策を提案・実行することが得意。



三船 直人 / 取締役

(株)OKAN、(株)タイミーにて、セールス、マーケティング、CS体制構築を担う。その後ミアンドスターズ(株)にてTwitter広告運用・設計。データドリブンな打ち手作りとリアルのお客様体験設計が得意とし、マーケターとして複数社と関わる。取締役COO兼マーケティング・開発を担当。



金田 健 / 社外取締役

SES企業を創業後、株式会社トライングを設立。取締役として人材紹介と教育を軸に事業を展開。その後、株式会社RYOMAを創業し、人事支援事業部を立ち上げる。採用支援、採用プロセスの改善や組織強化を通じて、多くの企業の成長に貢献。株式会社LOGの社外取締役として、組織運営、営業戦略、マネジメントを担当。

Thank You for Your Time

ご一緒にお仕事ができるのを心待ちにしております。